

## 放送作家鈴木おさむ氏が語る企業広報【PR TIMES カレッジ Vol.8】 初の全国 5 エリア(東京・札幌・名古屋・大阪・福岡)同時開催 11/16

- ご利用企業&メディアを無料ご招待。開催までの3カ月間、Vol.6&7の全11講演を限定再放送します -  
株式会社 PR TIMES (本社：東京都港区、代表取締役：山口 拓己、東証プライム：3922) は、2023年7月25日(火)、広報 PR 担当者向け学びとつながりのコミュニティイベント「PR TIMES カレッジ Vol.8」を2023年11月16日(木)に開催することを決定いたしました。開催コンテンツには、第一部に鈴木おさむ氏、第二部に高橋弘樹氏の登壇、第三部にファミリーマートのマーケティング担当者、商品開発担当者たちによるトークセッションが決定いたしました。また、8月2日より開催までの3カ月間、毎週水曜日に過去開催のPR TIMES カレッジ (Vol.6,7) を、限定再放送いたします。



PR TIMES カレッジ Vol.8 のお申込みは、開催概要が決定後、9月中旬までにお知らせいたします。申し込み開始時にメールでご案内ご希望の方は、以下よりお申込みください。

<https://tayori.com/f/college08-question/>

(※本申し込みは、参加を確約するものではありません。募集開始後に改めて、参加申し込みいただく必要がございます。)

PR TIMES カレッジ限定再放送 視聴のお申込み：<https://tayori.com/f/college-limited-rerun/>

### PR TIMES カレッジ vol.8 | ①3組のゲストスピーカー登壇／②会場ごとの広報交流会

8回目となる今回の PR TIMES カレッジは、ゲストスピーカーに放送作家の鈴木おさむさん、映像ディレクター兼プロデューサーの高橋弘樹さん、ファミリーマートのマーケティング担当者、商品開発担当者(詳細は後日発表)の3組にご登壇いただきます。また、3組のゲストコンテンツの後は、会場にお集まりの皆さま同士の交流会のお時間をご用意しています。

第一部のゲストスピーカーは、鈴木おさむさん。これまで日本を代表する放送作家として、親子2世代、3世代と、たくさんの人を楽しませ、生活の一部となるようなエンターテインメントをつくってきました。SNSでもご自身の私生活を含めた経験からも、世の人たちの行動につながるようなメッセージを発信しています。映像、文章、普段の発言、どんな場面でも人の心を揺さぶってきた鈴木さんのお話は、広報 PR の新しい気付きを得る機会になるはずです。

第二部は、「ReHacQ」でビジネスに関すること、話題になっている事柄を幅広い人々に届けている高橋弘樹さん。ワークショップスタイルで、より実践的な事業貢献につながる広報 PR についてお話いただきます。テレビ局勤務時代のバラエティ、ビジネスといった多岐にわたる企画、制作を元に、知識が少なくてもわかりやすく、関心が低い人も巻き込む発信技術など、社内外とのコミュニケーションにおいても大切なことを学べるコンテンツをお届けします。

第三部は、ファミリーマートのマーケティング担当者、商品開発担当者がトークセッション形式で、実際の商品や企画についてお話いただきます。毎週100個以上の新商品が発売される中で一つひとつがどのように生活者に届けられているのか、長年愛される商品と時流にのったユニークな商品が販売されるまでの過程、ひとつの商品が愛され続け、継続的な人気を得るための生活者とのコミュニケーションやマーケティング、開発の観点、など具体的な事例を元に、教えていただきます。

会場ごとに行う交流会の時間では、業界や広報体制など同じ共通点を持つ方々と一緒に広報 PR に対する考えを語り合い、日頃の課題を相談し合える場を創っていきたくと考えています。これまで以上に“学び”と“つながり”を感じる1日となる PR TIMES カレッジをご期待ください。

【ゲスト登壇者】

第一部：鈴木おさむ氏 放送作家



〈プロフィール〉

1972年生まれ。多数の人気番組の企画・構成・演出を手がけるほか、エッセイ・小説や漫画原作、映画・ドラマの脚本の執筆、映画監督、ドラマ演出、ラジオパーソナリティ、舞台の作・演出など多岐にわたり活躍。

第二部：高橋弘樹氏 映像ディレクター、プロデューサー、カメラマン



〈プロフィール〉

2005年テレビ東京入社。『家、ついて行ってイイですか?』『ジョージ・ポットマンの平成史』『吉木りさに怒られたい』『AKB48、最近聞いた?』などを企画・演出。2021年よりYouTubeチャンネル「日経テレ東大学」の企画・制作統括を務める。2023年2月末でテレビ東京を退社。3月より株式会社 tonari 代表取締役 CEO。スタートアップ、キャリア、経済学、金融、政治、地方創生、一般教養などを総合的に扱うビジネス動画メディア「ReHacQ」を開設。著書に『TV ディレクターの演出術』(筑摩書房)、『敗者の読書術』(主婦の友社)、『都会の異界 東京 23 区の島に住む』(産業編集センター)、編著書に『天才たちの未来予測図』(マガジンハウス)、『なんで会社辞めたんですか?』(東京ニュース通信社)など。

第三部：株式会社ファミリーマート

複数名ご登壇を予定。詳細につきましては、後日発表します。

【開催概要】

◆日程：2023年11月16日(木) 開場 14:00/開演 15:00/終了予定 20:30 ※時間は変更の可能性あり

◆場所：東京都・北海道・愛知県・大阪府・福岡県

北海道・愛知県・大阪府・福岡県でご参加の場合、第一部～三部のゲスト講演は中継でのご視聴、その後各会場での交流会となります。

テーマ、プログラム、お申込み方法については、開催概要が決定後、9月中旬までにご案内いたします。

PR の“学び”と“つながり”の PR TIMES カレッジ

PR TIMES カレッジは、8万3548社(2023年5月末時点)にご利用いただくプレスリリース配信サービス「PR TIMES」が開催するPRの“学び”と“つながり”の場として、2018年2月よりスタート。普段よりも少し広い視野で広報PRに活かせる気づきを得て、情報環境の変化を捉えながら今活かせる広報PRを学び、同じ目標や課題解消に向け取り組む社外の仲間と交流できるコミュニティイベントです。PR TIMES ご利用の企業さまを無償でお招きし、過去7回の開催で累計2200名以上の広報・PR担当者はじめ情報発信に携わる方にご参加いただいています。



過去のPR TIMES カレッジの様子：<https://prtimes.jp/college/>

これまでにご参加者様からいただいたアンケートコメントのご紹介

PR TIMES カレッジ Vol.6 参加者アンケートより

・第一部では、広報という枠にとらわれない考え方、分科会では普段の広報業務に寄り添ったテーマでの講演で、どちらも違った学びがありました

・分科会がすぐに実践できることが多く、社内の広報部隊にも早速共有し、翌月から動き出すことになりました

・自分にはなかった視点や、マインドを掘り起こすような感覚がありました。今一度深めて落とし込んでいきたいと思いました

PR TIMES カレッジ Vol.7 参加者アンケートより

・PR担当の立場の方、メディア側の方々のお話を1日で、両方の視点からのお話がきける内容になっていたのが興味深かった

・広報としてやれることはもっとあると思えたことが一番大きかったです

・広報でありながら、プレスリリースを書くことに集中しすぎるあまり、目的と手段を逆転させ、一部の業務内容の中で息詰まっていたので、改めて広報の仕事を俯瞰してみれるきっかけとなりました



**PR TIMES MAGAZINE 編集長 兼 PR TIMES カレッジ 運営責任者 丸花 由加里**

過去に PR TIMES が主催する他のイベントで福岡にお邪魔した際、「福岡で広報 PR 担当者が交流できる大規模なイベントはほとんどなく、情報交換ができてうれしい」というお声をいただきました。名古屋や大阪で開催した際は「直接話を聞くことで、深く理解できる」「多くの方と話せることで広い情報を得られる」という感想をいただきました。また、現在、日々全国から多くのプレスリリースを配信いただいております、その一つひとつには携わってきた方々の思いが込められています。一方、全国にはまだまだ発信されていないニュースがたくさんあると思っています。

これまで主に東京や大阪で開催を行い、累計 2200 名以上の方にご参加いただいている PR TIMES カレッジ。全国の PR TIMES をご利用いただく皆さまへ PR TIMES カレッジにご参加いただきたい、より多くのニュースを発信いただきたい、そのような思いから今回はじめて全国 5 エリアで開催いたします。

そして、今回の交流会は、前後半に時間を分ける予定です。前半は、より業務に活かせる学びがある時間を過ごしていただけるよう、業界や組織体制、現在の課題などを踏まえた少人数のグループごとの交流の時間を設けています。後半はフリータイムとなっているので、多くの方々と交流を図っていただき、普段は気がつかなかった広報 PR に活かせるヒントを得て帰っていただけたらと思います。



**エンゼルス球団広報マクナミー氏など過去の開催を限定再放送！放送スケジュールと申し込み方法**

PR TIMES カレッジ Vol.6、Vol.7 では、その日、その時間、その場所でしか得ることができない特別な時間を過ごしていただきたいと考え、アーカイブ視聴なしとして開催しました。一方で、応募制限や開催エリアの関係で参加できなかった方、開催以降に広報 PR 活動に携わることになった方など、多くの方からぜひ視聴したいとご要望をいただきました。

この度、登壇ゲストの皆様にご快諾いただき、PR TIMES カレッジ Vol.8 開催までの約 3 カ月間、それぞれ 2022 年、2023 年に開催した PR TIMES カレッジ Vol.6、Vol.7 の全 11 講演のアーカイブ動画を限定再放送することを決定しました。コンテンツごとに 1 日限定の再放送となりますのでお見逃しないうち、お早めにお申し込みください。

PR TIMES カレッジ限定再放送お申込みはこちら：

<https://tayori.com/f/college-limited-rerun/>



〈PR TIMES カレッジ Vol.7 ダイジェスト動画〉  
<https://youtu.be/cEWtvWJVQDc>

**PR TIMES カレッジ過去の限定再放送**

| 【配信スケジュール】<br>8/2～10/18 毎週水曜日 計 11 回実施<br>各日 13:00～/ 18:00～ |   | PR TIMES<br>カレッジ | 9/13<br>(水)  | オープンな IR コミュニケーションを目指す広報施策<br>サイボウズ株式会社 コーポレートブランディング部 広報 山見 知花氏   |
|---|---|------------------|--------------|--|
| 8/2<br>(水)  | 「広報」とは何か？と素人の部外者から見た天国と地獄   |                  | 9/20<br>(水)  | 企業の拡大期における広報。<br>社外への発信と組織体制強化・危機管理について<br>株式会社 SmarHR マーケティンググループ マネージャー 荒木 彰氏 / 広報 洪 由理氏                   |
| 8/9<br>(水)  | 『広報 PR の可能性に弾ませ、<br>広報 PR に携わる者としてのキャリアを考える』<br>ロサンゼルス・エンゼルス球団広報 グレース・マクナミー氏                          |                  | 9/27<br>(水)  | 守りから攻めの広報へ、変革期の広報基盤づくりについて<br>バイオニア株式会社 コーポレートコミュニケーション部 部長 角谷 朗子氏   |
| 8/23<br>(水)   | BRUTUS 編集長、という仕事。<br>“編集長交代”を新旧の当事者たちが初めて語る、BRUTUS の答え<br>マガジンハウス・取締役 西田 善太氏、BRUTUS 編集長・第四編集局局長 田島 朗氏 |                  | 10/4<br>(水)  | サステナビリティ、理念の浸透。バイオ燃料広報の現実と裏側<br>株式会社ユーグレナ 広報宣伝部長 北見 裕介氏  |
| 8/30<br>(水)   | 今日のランキング常連。<br>年間 226 本を配信する企業のプレスリリース活用術<br>アークランドサービスホールディングス株式会社 社長室広報担当マネージャー 鈴木 恵美氏              |                  | 10/11<br>(水) | 商品開発部との連携強化。<br>広報活動の目標設定と分析、ネクストアクション<br>株式会社フェリシモ 広報部 中島 健太郎氏  |
| 9/6<br>(水)  | 取材を呼び込む。<br>広告や宣伝とは異なる、企業のビジョンを伝える広報活動<br>株式会社クラス 広報 小林 美穂氏   |                  | 10/18<br>(水) | グループ登壇。地方から全国に広げるメディアコミュニケーション<br>ブラザー工業株式会社 CSR&コミュニケーション部 広報チーム 主任 西 恭平氏、<br>マーケティング推進部 広報グループマネージャー 若山 勝氏 |

※お名前、お役職、テーマは当時の発表内容のため最新情報と異なる場合があります

PR TIMES カレッジ



※より詳細については各開催時のプレスリリースをご覧ください

PR TIMES カレッジ Vol.6 <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001178.000000112.html>

PR TIMES カレッジ Vol.7 <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001240.000000112.html>

## 株式会社 PR TIMES について

PR TIMES（読み：ピーアールタイムズ）は、「**行動者発の情報、人の心を揺さぶる時代へ**」をミッションに掲げ、「行動者」のポジティブな情報がニュースの中心となり、個人を勇気づけ前向きにする社会の実現に挑んでいます。私たちは人の行動や頑張りの結晶を、その想いを紡いで発表するのがプレスリリースだと考え、企業規模を問わず「行動者」が自ら発信できる、PRの民主化を目指して事業を展開しています。プレスリリース配信サービス「PR TIMES」の利用企業社数は8万3000社を超え、国内上場企業の54%超に利用いただいています。情報収集のため会員登録いただくメディア記者2万5000人超、サイトアクセス数は月間7500万PV超、プレスリリース件数は月間3万3000件超、累計で100万件を超えています。全国紙WEBサイト等含むパートナーメディア230媒体以上にコンテンツを掲載しています（2023年2月時点）。



他にも、ストーリーで伝える「PR TIMES STORY」、動画で伝える「PR TIMES TV」、PR活動の設計から実行まで伴走するPRパートナー事業、アート特化型のPRプラットフォーム「MARPH」、[isuta]「STRAIGHT PRESS」等のニュースメディア事業で、情報発表とその伝播を支援する他、生まれた企画が発表に至るまで前進できるよう支えるタスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」、さらに発表後のお客様対応や情報整理を円滑に行えるカスタマーサポートツール「Tayori」など、「行動者」を立体的に支える事業を運営しています。

また子会社には、スタートアップメディア「BRIDGE」を運営する株式会社 THE BRIDGE、ソフトウェア受託開発を行う株式会社グルコースがあります。

## 【株式会社 PR TIMES 会社概要】

ミッション：行動者発の情報、人の心を揺さぶる時代へ

会社名：株式会社 PR TIMES（東証プライム 証券コード：3922）

所在地：東京都港区赤坂1-11-44 赤坂インターシティ 8F

設立：2005年12月

代表取締役：山口 拓己

事業内容：- プレスリリース配信サービス「PR TIMES」 (<https://prtimes.jp/>) の運営  
 - ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」 (<https://prtimes.jp/story/>) の運営  
 - 広報・PRの効果測定サービス「Web クリップング」 (<https://webclipping.jp/>) の運営  
 - クライアントとメディアのパートナーとして広報・PR支援の実施  
 - 動画PRサービス「PR TIMES TV」「PR TIMES LIVE」 (<https://prtimes.jp/tv/>) の運営  
 - アート特化型オンラインPRプラットフォーム「MARPH」 (<https://marph.com/>) の運営  
 - カスタマーサポートツール「Tayori」 (<https://tayori.com/>) の運営  
 - タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」 (<https://www.jooto.com/>) の運営  
 - 広報PRのナレッジを届けるメディア「PR TIMES MAGAZINE」 (<https://prtimes.jp/magazine/>) の運営  
 - Web ニュースメディア運営、等

URL：<https://prtimes.co.jp/>

PR TIMES